

人間国宝・玉川宣夫講演会 「木目金の魅力」

対談 玉川宣夫・市川正美

「正倉院宝物 銀薫炉復元」を語る

新潟美術館で開催中の「メタルズ！ー変容する金属の美ー」(1月24日～3月8日)関連イベントとして、メタルズ！展出品作家の玉川宣夫氏より、「木目金(もくめがね)の魅力」について、お話しいただきます。

さらに、新潟展のみ展示中の《正倉院銀薫炉 復元模造》の制作に関わった、新潟県燕市在住で鍛金家の玉川宣夫氏と、彫金家の市川正美氏のお二人をお迎えし、正倉院宝物銀薫炉の復元にまつわるお話をお聞きます。

2015年2月8日(日) 13:30～15:00

会場 新潟市新津美術館 1階 市民ギャラリー（新潟市秋葉区蒲ヶ沢 109-1）

参加無料（ただし新潟美術館「メタルズ！ー変容する金属の美ー」観覧券が必要です。）
直接会場へお越しください。 開場:13:00 講演時間:13:30-15:00 定員:100名

第1部

出演 玉川宣夫氏(鍛金・重要無形文化財保持者)

聞き手 横山秀樹(新潟市新津美術館館長)、齋藤優介(燕市産業史料館主任学芸員)

第2部

出演 玉川宣夫氏(鍛金)、市川正美氏(彫金) 進行 新潟美術館館長

玉川宣夫氏 (たまがわ のりお) 燕市在住

昭和17年三条市(旧下田村)生まれ。昭和34年に玉川堂に入社後、東京にて鍛金・人間国宝の関谷四郎に学ぶ。その後独立し、制作活動に専念。日本伝統工芸展に優秀賞など受賞多数。

平成14年に正倉院宝物の銀薫炉復元(鍛金)、同年紫綬褒章受章。
平成22年重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定、同年燕市功労者。
木目金花瓶の第一人者。現在、伝統工芸会正会員。



玉川宣夫《木目金花瓶》
(燕市産業史料館蔵)
メタルズ！にて現在展示中



市川正美氏 (いちかわ まさみ) 燕市在住

昭和23年分水町生まれ。洋食器金型彫金にて6年間修業後独立。昭和56年、彫金・人間国宝の鹿嶋一谷に師事し、10年間修行で布目象嵌の技法を習得。平成11年伝統工芸日本金工展日本工芸会賞。平成14年に正倉院宝物の銀薫炉復元(彫金)、同年日本伝統工芸展日本工芸会会長賞・文化庁買上げ。布目象嵌の第一人者。現在、日本工芸会正会員。



市川正美氏

主催・お問合せ 新潟市新津美術館 電話:0250-25-1300

新潟市秋葉区蒲ヶ沢 109-1 (花と遺跡のふるさと公園内・新潟県立植物園となり)